

(2) 知的障害者

イ 事業所と関係機関との連携

知的障害者を募集・採用する際に、関係機関を利用したり、又は協力を求めたことのある事業所は全体の 14.5 % であり、職場定着に関する利用は 7.6 % と身体障害者の場合と比較して少なくなっている。

採用時における利用状況を機関別に見ると、公共職業安定所 78.2 %、学校・各種学校が 40.4 % と多くなっている。また、雇用継続、職場定着に関する連携の割合も採用時と大きく変わっていないが、福祉機関・施設との連携については、採用後の方が多くなっている。

図 4-3 知的障害者雇用等に係る関係機関との連携状況（複数回答：2 つまで） (%)

|             | 30           | 60 | 90 |
|-------------|--------------|----|----|
| 公共職業安定所     | 78.2<br>68.0 |    |    |
| 障害者職業センター   | 6.7<br>7.9   |    |    |
| 職業能力開発校     | 4.2<br>3.8   |    |    |
| 障害者雇用支援センター | 3.4<br>4.8   |    |    |
| 学校・各種学校     | 40.4<br>34.9 |    |    |
| 社会福祉機関・施設   | 8.2<br>13.7  |    |    |
| 医療機関・施設     | 1.6<br>4.3   |    |    |
| その他         | 3.0<br>4.6   |    |    |

(利用したことがある=100)

(注) ■■■■■ は募集・採用の際を示す。  
■■■■■ は雇用継続・職場定着の際を示す。